

# 連合岩手釜石・遠野地協

## NEWS LETTER

連合岩手釜石・遠野地域協議会

NEWS LETTER

第54号 発行人小島安友

編集人菊池利行

2025年9月5日

### 連合岩手2025平和行動

県内キャラバン

## 釜石・遠野地協 集会・行進で平和を訴え

連合岩手は2025年7月28日(土)に平和行動を実施、内陸・沿岸北・沿岸南の3コースで平和集会・行進を実施しました。釜石・遠野地協でも、7月29日に釜石、日に遠野で平和集会を実施しました。集会には「高校平和大使」から平和への願いと署名の呼びかけがありました。

釜石では、釜石教育会館で18時00分から「釜石地区平和集会」を開催、約90名が参加しました。

今野副議長が挨拶、すべの生活の前提となる平和を守る運動に結集し、行動しようと訴えました。

次に、県平和実行委員会を代表して五嶋大季地区友愛会会長が挨拶、戦

後80年の節目の年、沖縄や広島、長崎に思いを寄せ、核のない世界、平和を考える夏にしようと呼びかけました。

次に集会にかけつけていただいた大久保隆規県議から連帯の挨拶、三浦一泰市議からの連帯のメッセージが紹介されました。

その後、連帯のアピールとし高校平和大使の佐藤凛太郎さんから活動の報告と平和へのメッセージの紹介がありました。

引き続き集会アピール採択を行い、集会後は釜

石イオン店入口から、大町通りをデモ行進し平和を訴えました。

遠野では、遠野教育児童会館で18時00分から「平和集会」を開催、約60名が参加しました。

集会では、主催者を代表して平和運動実行委員会委員長の湊恵幸氏があいさつ。ロシアのクライナ侵攻と原爆の使用をほめかす姿勢を強く批判し、ザマ地区での惨状を憂い、



上から「平和高校大使からのアピール」「釜石でのデモ行進」「伊藤宜夫さんから広島被爆体験のお話」「遠野でのデモ行進」

今年も連合岩手の平和行動に2名を派遣することができました。照井崇史さん「遠野市職労」と内澤隆二さん「JFP労組」が長崎に行ってきました。後日、報告会が予定されています。お楽しみに。

弛まない行動で平和を守ろうと訴えました。続いて、伊藤宣夫さんから当時、広島で被爆したことの体験や平和を訴え続けることの大切さ、被爆体験をまとめた紙芝居の活用のお話がありました。

「戦争は人殺しです。絶対にやってはいけません。」という心からの叫びが、会場にこだましました。

引き続き集会アピール採択を行い、集会後は教育児童会館から駅前に向かってデモ行進を行い、平和を訴えました。

戦後80年となり、当時を語ってくれたさる方々も少なくなってきました。地域の歴史から平和を学ぶことの大切さを再認識する集会になりました。



# 終戦 80 年、平和な社会実現の行動を！

## いっぽいっぽ 運動の継続を！



釜石教育会館 / 最後の集会になりました。



遠野教育児童会館にて

平和への願いを込めて、思いをひとつに / 釜石集会・遠野集会

### 平和の折り鶴

女性青年委員会の役員及び遠野地区の地協幹事の皆さんのお力で、折り鶴、100羽が完成し、県の平和集会で活用されました。その後、連合の平和行動として、長崎の平和集会に届けました。



8月5日に「平和の取り組みに対する要請書」を釜石市に提出しました。釜石市側からは、中村総務企画部長、今野平和環境釜石地方労セセンター議長、三浦一泰釜石市議が要請行動を行いました。釜石市は艦砲射撃の街として、黙とうやサイレン吹鳴をこれまでも取り組んでいます。今後も平和の取り組みの発信を継続するとともに、平和教育の大切さを強く訴えました。

平和の要請書 釜石市に提出 8/5

7月31日に「平和の取り組みに対する要請書」を遠野市に提出しました。遠野市側からは、佐々木総務企画部長、務課長他2名が対応。遠野地区平和実行委員会からは、湊恵幸実行委員長、長、千田和幸副実行委員長、長、菊池利行地協事務局長が要請行動をしました。

平和の要請書 遠野市に提出 7/31



中村総務企画部長と今野平和環境釜石地方労センター議長



平和の取り組みを交流しました。



↑佐々木総務企画部総務課長と湊恵幸実行委員長  
地域の実情を懇談しました。→



★お知らせ★ 連合地協第37回定期大会が11月18日(火)に釜石PITで開催されます。※予定変更です。